

内藤さとし通信



いよいよ、今任期も今年7月で満了を迎えることとなり、残す期間も僅かとなりました。皆様のお支えにより、三期10年という大きな節目を迎えることができました。

今任期の活動を振り返りますと、仲川市長の二期目の市政運営に対し、逼迫している財政の立直しと市役所の持つ機能強化、行政コストの縮小のあり方、歯止めがかからない少子高齢化に対応する福祉の考え方や市民サービスのあり方など多くの課題に対し議論して参りました。

特に本市の最重要課題の一つであります、新斎苑移転建設問題においては昨年12月定例会において、関連予算が可決することができました。

残る任期においても市民皆様の安心・安全な暮らしを第一に提言活動をして参る所存です。

最後に、今日までの活動を支援して頂いている皆様にお礼申し上げ、活動のご報告とさせていただきます。

あなたの声が届く市政へ！全力投球！！

地域活動



地区自主防災訓練に参加
地元自治会長として、災害時の救助訓練に参加する。



自治会「餅つき大会」にて
自治会の皆さんと恒例の「餅つき大会」等の行事を通して、ふれあい地域づくりを考える。



地区自治連合会県外研修
地元地区自治連合会主催する県外研修会の企画担当として参加。地域自治会長と交流、親睦を兼ねて地域貢献。

本会議・委員会活動

本会議

代表質問 (H26. 6、H27. 3、H28. 3)

- 会派を代表して市長に施政方針、本市の課題について問う。
- ・JR新駅を中心とした10年後の奈良のまちづくりについて
- ・奈良市における定住人口減少の現状と対策について
- ・職員定員適正化計画に基づく行政組織について
- ・新斎苑移転建設基本計画について

個人質問 (H26. 3、H26. 12、H27. 6、H27. 9、H28. 3、H28. 9)

- 「保育所・幼稚園の職場環境改善策」・「地域住民自治協議会設立」・「行財政改革の取り組み」等、政策課題について対策案を担当部局に問う。
- ・保育園の保育教育士の現状と今後の考え方について
- ・消防職員の適正人員と採用計画について
- ・財政面における歳入増に向けた取り組みについて

常任委員会

H25年度（厚生消防委員）

- ・福祉政策（介護、障がい、子供育成）、消防行政等の現状問題と課題について

H26年度（総務委員会副会長）

- ・職員の削減問題、行政組織のあり方、財政改革の取り組みについて

H27年度（総務委員会委員長）

- ・自主財源、市税徴収率の向上、債権対策に向けての取り組みについて
- ・「行政業務の民営化」と「職員の定員適正化のあり方」が市民サービスに与える影響について
- ・公共施設マネジメント計画と個別施設計画における予算編成との整合性について

H28年度（総務委員会副委員長）

- ・避難行動要支援者への避難支援の現状及び今後における取り組みについて
- ・定員適正化計画を踏まえての平成29年度の保育教育士採用の考え方について

主な質問内容および提言

JR新駅を中心とした10年後の奈良のまちづくりについて

JR関西線新駅の設置については費用面から見ても本市にとって非常にメリットのある仕組みであることなどを総合して考えれば、新駅の設置は本市にとってこれからの将来における重要な事業と考えるが如何か。
(H26. 6 定例会代表質問にて)

本市として、この新駅構想が地域の住民の利便性ということだけではなく、観光の面からも評価をしていくべきものであると考えているところであり、今後、どのような可能性があるかということについて具体的に検討を進めていくこととする。（これまでの慎重姿勢をはじめ方針を切り替えた）

- ⇒ H27. 1. 23奈良県と県市包括協定書締結
- ・ H28. 5. 17奈良県、JR西日本「JR新駅周辺地区」における連携協定を締結。

現在、八条・大安寺地区の基本協定締結に向けて調整中

新斎苑移転建設に伴う進捗と意気込みについて

本市の現火葬場は限界に近い状態であると言わざるを得ない現状から、一刻も早く新斎苑を建設し、全市民の念願を最優先に対応されることを望む。市にとって重要な課題になっている新斎苑の建設に伴う進捗と市長の意気込みを改めて問う。
(H27. 3 H28. 3定例会代表質問にて関連質問)

新斎苑建設は、本市における喫緊の最重要課題として取り組むべき事業と認識しており、何があっても新斎苑を建設し、それによって市民の不安を取り除き、安心して暮らせる環境をつくる。そのことを積極的かつ精力的に遂行していくべきものと認識している。

H28.12定例会にて新斎苑建設基本計画に伴う関連補正予算が賛成多数で可決。

市立保育園の保育教育士の現状と今後の考え方について

- ・正規職員がなかなか雇えず、その充足を臨時職員で補っている。保育現場における環境改善策として、保育教育士の処遇改善についてまた保育教育士の安定確保に向けた施策について追及する。

(H26. 3代表質問、H28. 3予算審査委員会、H28. 9定例会にて関連質問)

保育士と幼稚園講師の身分を保育教育士として一本化し、処遇改善に向けた取り組みを実施した。長く勤められる職場環境が整うことで、保育教育士の確保や定着につながり、職務経験を重ねることで保育教育士の成長を支え、保育の質の向上にもつながると考えている。今後の処遇改善については、国の動向も参考にしながら対応していく。保育教育士の安定確保においては、今後も正規保育教育士の採用とあわせて、保育の仕事にかかわる人材をふやせるようあらゆる手法を用い、保育教育士確保に努めてまいりたいと考えている。

詳しくは「HP」をご覧ください

お問い合わせ

内藤さとし後援会事務所

〒630-8441

(自宅)奈良市神殿町220-72

TEL・FAX 0742-62-1159

E-mail satoshi.naito0726@gmail.com

HP: <http://www.satoshi-naito.com>